

IMFの世界経済見通し改定

シャイニング・インド（マクロ関連） ～引き続き高い経済成長が見込まれるインド～

国際通貨基金（IMF）は2023年1月31日に世界経済見通しを改定しました。世界経済成長率は2022年の3.4%（推定値）から2023年に2.9%へ鈍化することが見込まれるものの、前回（2022年10月時点）の見通し（2.7%）からは上方修正されました。主な要因として、中国の経済活動の再開や労働市場のひっ迫を背景とする賃金上昇圧力による米国の内需の底堅さなどが挙げられます。ただ見通しは上方修正されたものの、インフレ高止まりの中での米欧の中央銀行による利上げや、ロシアによるウクライナ侵攻が引き続き経済活動の重石になると指摘されています。

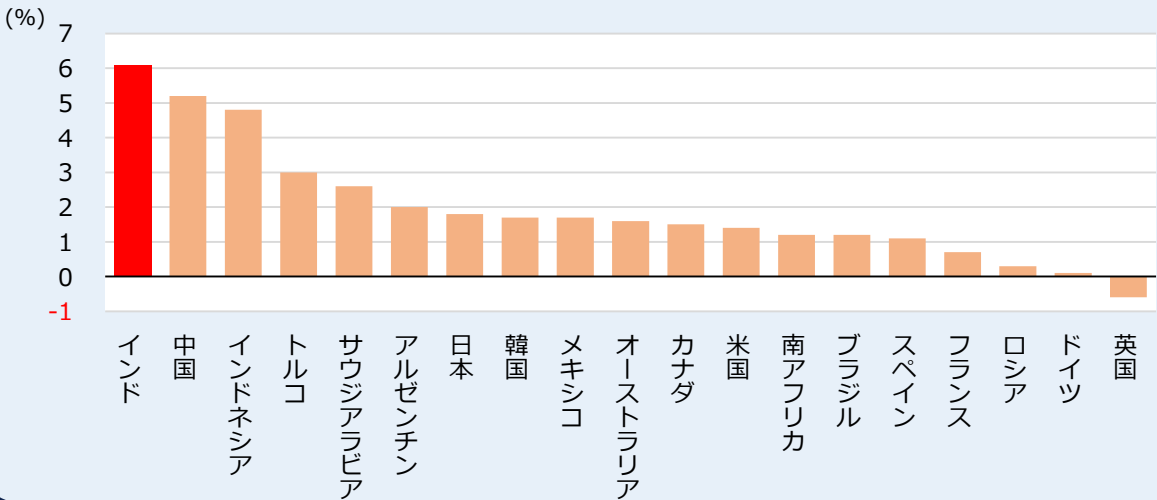
インドの2023年経済成長率見通しは6.1%、2024年は6.8%とそれぞれ2022年10月時点の予測値に据え置かれました。IMFはインド経済について「外部からの逆風にもかかわらず内需は底堅く推移すると見られる」としており、主要国の中で高い成長率が予測されています。また、インドと中国を合わせると2023年の世界経済成長の約半分を占めると見込まれています。

IMFの世界経済見通し（実質GDP成長率）

	2023年	2024年
世界	2.9% (+0.2%)	3.1% (▲0.1%)
先進国	1.2% (+0.1%)	1.4% (▲0.2%)
新興国	4.0% (+0.3%)	4.2% (▲0.1%)
米国	1.4% (+0.4%)	1.0% (▲0.2%)
ユーロ圏	0.7% (+0.2%)	1.6% (▲0.2%)
日本	1.8% (+0.2%)	0.9% (▲0.4%)
中国	5.2% (+0.8%)	4.5% (変わらず)
インド	6.1% (変わらず)	6.8% (変わらず)

() 内は、2022年10月時点の予測からの改定幅

G20参加国の2023年の実質GDP成長率見通し比較



出所：IMF「World Economic Outlook Update, January 2023」のデータを基にパインブリッジ・インベストメンツ作成



ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会